

No.	確認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	A							参考資料	備考① （地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名）	備考② （事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情）	予算区分	
																	総事業費	B					G					
																		補助対象事業費	国庫補助額	C 交付対象経費	D 起債予定額	F その他	補助対象外経費					
10		補	12	学校保健特別対策事業費補助金	文科	（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業） ①②小中学校再開時における新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要な衛生資機材を購入し、休業中の在宅学習を実施するために必要な物品等を購入する ③（1）サーキュレーター（換気効率向上）購入@8,228円*210教室=1,727,880、扇風機（給食配膳室換気効率向上）購入 @9,130円*57個=520,410、フェイスガード（教員用）購入@187円*600個=112,200 （2）小中学校再開時における感染症拡大防止 ・感染症対策消耗品（学校配当）@420,000円*19校=7,980,000 ・レバー式蛇口交換@3,014円×1,020箇所=3,074,280 ・ノータッチ式ディスペンサー@11,550円*210教室=2,425,500 （3）家庭における学習のための教材費（印刷消耗品等） ・トナーカートリッジ@29,650円*120個=3,558,000 ・保健衛生用品（ハンドソープ）@495円*5,000個=2,475,000 （4）密防止のための教室の分散化を行う備品費 ・移動式ホワイトボード@54,780円*30台=1,643,400 ④伊達市立各小中学校の児童・生徒 ※③積算根拠のうち、国庫補助交付限度額分を申請	－	－	－	－	－	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R2.6	R3.3	23,500	23,500	11,750	11,750	－	－	－				R2補正（国）		
11		単		道の駅伊達の郷りょうぜん自動ドア改修事業		①－ ②－ ③4か所×2250千円＝9,000千円 ④－	－	－	－	－	－	－	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	①③密対策	R2.7	R3.2	9,000			9,000	－	－				R2補正（地）		
12		単		公共交通運行維持支援事業（タクシー事業者）		①地域生活の維持のために運行体制を確保した市内の一般貸付旅客自動車運送事業者（貸切バス）及び一般乗用旅客自動車運送事業者（タクシー）へ支援を行う。 ②道路運送法第4条1項の規定による下記事業者の該当車両（貸切バス、タクシー車両）1台当たりの固定経費等に掛かる年間額のうち4、5月分を支援する。 ③・タクシー固定経費3万円/台×82台（負担額 2,460千円） ・バス固定経費4万円/台×43台（負担額 1,720千円） ④市内一般貸切旅客自動車運送事業者（貸切バス） 市内一般乗用旅客自動車運送事業者（タクシー）※福祉事業限定許可（介護タクシー）を除く	－	○	－	－	－	－	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	②いずれも該当しない	R2.8	R2.12	4,180				4,180	－	－				R2補正（地）	
13		単		公共交通運行維持支援事業（阿武隈急行㈱）		①②外出や県外移動、飲食業の自営業請により経営に影響が出ている中も地域生活の維持のために運行体制を確保した阿武隈急行株式会社に4、5月分の運行に係る経費を支援する。また、新型コロナウイルス感染症の終息を見据え、阿武隈急行㈱が行う利用促進を図る企画に対し支援を行う。 ③定時定路線生活維持支援金（令和2年4月分及び5月分の人件費、動力費、光熱水費等の経費）＝7,591千円 利用促進支援金（利用促進を図る企画について支援）＝3,542千円 ④阿武隈急行株式会社	－	○	－	○	－	－	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	②いずれも該当しない	R2.9	R3.3	11,133				11,133	－	－				R2補正（地）	
14		単		人材還流促進事業		①新型コロナウイルス感染症による影響で、地方が目注されている中、伊達市の魅力を発信するため、生涯活躍ポータル「カラフル」を活用し、Webを活用したイベント等により関係人口の拡大を図り、本市への移住を促進する。 ②・Webイベント・セミナー開催 ・移住関連雑誌掲載、SNS広告 ③イベント等の実施に係る業務委託料 8,100千円 ④主に首都圏の移住希望者	－	－	－	－	－	－	Ⅰ-6. 情報発信の充実	①③密対策	R2.9	R3.3	8,100				8,100	－	－				R2補正（地）	
15		単	75	テレワーク環境の構築と雇用創出		①②分散業務や在宅勤務が可能になる環境を整え事業の継続性や安全性の確保を図る。また、構築した環境を活用して、緊急的な経済対策のための雇用創出対応やサテライトオフィスの開設などを実現するもの。 ③（1）テレワーク環境整備経費【152,751千円】 ノートパソコン 690台：113,088,256円、設定費用：12,833,405円、ソフトウェア費用：182,505円、SIMフリードングル：154,000円、モバイルプラス（CPA）：481,982円、テレワーク設定費用：630,696円、外付けディスプレイ・無線マウスキーボード690台：12,872,700円、グループウェア（退勤、スケジュール等管理システム）導入費用：8,107,000円、電子決済支援ソフト DocuWorks 700台 4,400,000円 （2）分散業務実施経費【621千円】 分散業務箇所設定変更費用（梁川総合支所、伊達総合支所、霊山総合支所、月館総合支所）：492,800円、分散業務必要消耗品OAタップ等：65,312円、分散業務に係る庁内文書定期巡回送達事業：62,832円 （3）WiFi環境の整備【38,826千円】 ・設置経費①（梁川総合支所、伊達総合支所、霊山総合支所、月館総合支所）：25,200,000円、設置経費②（保原中央交流館、伊達ふれあいセンター）：12,600,000円、回線使用料（100Mb/s）（6拠点）：404,250円 （4）RPAソフト導入経費【6,904千円】 メディアバック：10,000円、Enterprise：3,278,000円、Stanadard：2,735,000円、プログラムサポートEnterprise：138,000円、プログラムサポートStanadard：115,000円 ④市職員、緊急被雇用者	－	－	－	－	－	－	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	④行政IT化	R2.9	R3.3	199,102				199,102	－	－					R2補正（地）
16		単		伊達おもてなしWi-Fi環境整備事業		①②公共施設等にWi-Fi環境整備することで、来訪者のコワーキングスペースや観光客への情報提供、学生の学習スペースや市民の災害時の情報取得など、利用者の利便性を向上させ、交流人口の拡大や災害対応に資する。 ③設置経費282千円×19アクセスポイント＝5,358千円（9施設） ・梁川総合支所、伊達中央交流館、保原中央交流館、霊山中央交流館、月館中央交流館、まちの駅（やながわ）、JR伊達駅、阿武隈急行梁川駅、阿武隈急行保原駅 ④来訪者、伊達市民	－	－	－	－	－	－	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑬リビングシフト	R2.9	R3.3	5,358				5,358	－	－					R2補正（地）
17		単		新しい生活様式を取り入れた働き方改革推進事業		①②会議記録作成業務に音声認識システムを導入することで、職員の業務量を減らし職場の密集時間の削減や、リモートワークや分散業務の促進させる。 ③会議マイクシステム（有線10本、無線4本）：2,446,400円 議事録作成支援システム：5,940,000円 ④伊達市一般会計	－	－	－	－	－	－	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	④行政IT化	R2.9	R3.2	8,387				8,387	－	－					R2補正（地）

No.	確認済事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考① （地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名）	備考② （事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情）	予算区分			
																	総事業費	B									G 補助対象外経費		
																		補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他							
18		単	39	緊急雇用対策事業		①新型コロナウイルス感染症拡大により内定取り消し等の影響を受けた者に対し、市役所において一時的な雇用機会を創出する。 ②・雇用形態 会計年度任用職員 ・雇用人数 5名 ・雇用期間 令和2年7月～令和3年3月 ③・給料額@149,300 円× 9 箇月× 5 名＝ 6,718,500 円 ・通勤手当@17,200 円× 9 箇月× 5 名＝ 774,000 円 ・期末手当@149,300 円× 1,275 × 5 名＝ 951,787 円 ・超過勤務手当@6,718,500 円× 3.0% ＝ 201,555 円 ・共済費@8,645,842 円× 15.0% ＝ 1,296,876 円 ④新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、解雇、雇止め、内定取消しになった者及び求職中の者	－	－	－	－		－	Ⅱ-1. 雇用の維持	②いずれも該当しない	R2.8	R3.3	9,944			9,944	－	－				R2補正（地）			
19		単		シティプロモーション活動事業		①②「新しい生活様式」を取り入れ、都市部から地方へ生活の拠点を移す方に向けて効果的に伊達市の情報を発信するためにHP等の改修・整備を実施する。 ③・ホームページリニューアル 9,535千円 ・撮影機材整備 400千円 ④・地方でテレワーク環境を探している人（地方に移り住みたい人） ・地方に2拠点生活の場を求めている人	－	－	－	－		－	I-6. 情報発信の充実	⑬リビングシフト	R2.9	R3.3	9,935			9,935	－	－				R2補正（地）			
20		単	12	市内交流施設の安全・安心確保事業		①②交流館や市観光施設等の市内の交流施設において、新型コロナウイルス感染拡大の防止対策（3密対策）に必要な器材を購入し、安心・安全に施設を利用できる環境を整備し、新しい生活様式の下での施設の本格的な再開をすすめる。 ③④総合支所5施設、中央交流館5施設、地区交流館18施設、観光交流施設9施設、その他交流施設8施設 合計45施設 ・自動手指消毒器@15,000円*60個＝900,000円 ・自動手指消毒器スタンド@15,000円*60個＝900,000円 ・飛沫防止パーティション（卓上）@20,000円*100個＝2,000,000円 ・飛沫防止ビニールカーテン（窓口）@20,000円*25個＝500,000円 ・スプレーボトル（1本）@300円*300個＝90,000円 ・ペーパータオル（200枚入）@500.円*610個＝305,000円	－	－	－	－		－	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.10	R3.3	4,695			4,695	－	－						R2補正（地）	
21	○	単	78	伊達駅なかコワーキングスペース設置事業		①②伊達市の玄関口でもあるJR伊達駅なかプラザ内の一部に、コワーキングスペースを設け、企業や事務所に出向かずとも仕事ができる空間を創出することでのテレワーク環境を提供する。 ③・パーティションor間仕切り工事2,500千円 ・机等1,500千円 ・電気設備等500千円 ・消耗品500千円 ④一般企業の勤務者等	－	－	－	－		－	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑬リビングシフト	R2.9	R3.3	5,000			5,000	－	－					R2補正（地）		
22		単		コロナに負けない地域活力創出事業		①②新型コロナウイルスの影響により、全国的な自粛ムードが続いており、地元商店街や企業の活気低下、市民の生活意欲（生活の目標や価値観など）の低下がみられる。その活気や生活意欲を取り戻すことを目的に、地域振興を図る事業や地域イベントを行う個人や団体等に対し、その事業費を支援するもの。 ③・補助額は対象経費の9/10までの額とする（60万円上限） ・600千円 × 5総合支所 ＝ 3,000千円 ④年内に市内の各地域で行われる地域振興を図る事業または、地域イベントに係る事業を実施する団体	－	－	－	－		－	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	②いずれも該当しない	R2.8	R3.3	3,000			3,000	－	－					R2補正（地）		
23	○	単	36	避難所における新型コロナウイルス感染症予防整備事業		①②災害時において開設する避難所ではコロナ対策が求められているが、避難所ごとの収容人数が減少したことから、より多くの避難所を開設することが求められている。より多くの避難所の開設に対応するため、備蓄品や衛生資材を購入するもの。 ③・毛布（難燃毛布）1,000 枚×@7,150 円＝7,150,000 円 ・ワンタッチテント（3.24 m）20 張×@49,500 円＝990,000 円 ・おう吐物処理キット（3 個セット）20 個×@14,300＝286,000 円 ・タイベックス200 着×@1,430 円＝286,000 円 ・サバイバルシート（2.1×1.3）550 枚×@550 円＝302,500 円 ④伊達市一般会計	－	－	－	－		－	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.7	R3.3	9,015			9,015	－	－						R2補正（地）	
24		単	76	「来てだて」お試しワーケーション事業		①伊達市を代表する地域資源「霊山高原」や豊かな時間が流れる「月館の里山」を拠点に、テレワーク（遠隔勤務）と伊達市の魅力を感じる体験により、関東圏から伊達市への人の流れを創出し、関係人口の創出と地域の活性化につなげる。また、それに関連して市の各種支援制度や魅力を広く周知するため、YAHOO広告を活用し、情報を発信する。 ②関東圏で働く若い世代をターゲットに、宿泊施設「紅彩館」「つきだて花工房」での5泊6日体験パッケージを提供する。 ③（1）ワーケーション関連 総額 3,000 千円 ・宿泊補助 1泊9 千円×5泊×50 名＝2,250 千円 △自己負担額 500 千円＝1,750 千円 ・各施設体験活動補助 2千円×50 名＝100 千円 ・紅彩館Wifi 環境整備工事＝1,000 千円 ・チラシ作成 100 千円 ・プリンター2台 50 千円 （2）PR関連 総額 約1,000 千円 ・1日6,000 円（1クリック@200 円×30 人） ・6,000 円×30 日×5.5月 ④関東圏で働く若者、Yahoo ユーザー、紅彩館、つきだて花工房	－	－	－	－		－	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	②いずれも該当しない	R2.10	R3.3	4,000			4,000	－	－							R2補正（地）
25																													
26		単		障がい者就労継続支援給付金事業		①②就労継続支援事業所（A・B型事業所）が、コロナの影響により直近の就労継続事業関連の受注または売上高が、前年同期（令和2年3月～6月のいずれか）と比較し20%以上減少した事業所に対し給付金として、一律1事業所に対し20万円を給付する。このことにより、障害者の就労場所の確保や生活支援の事業所として重要役割を果たしている事業所が引き続き安定した運営ができるように支援する。 ③ 一律 1事業所につき20万円 ④市内A型事業所：2事業所 市内B型事業所：6事業所	－	○	－	○		－	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	②いずれも該当しない	R2.9	R3.3	1,600			1,600	－	－					R2補正（地）		

No.	確認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	A							参考資料	備考① （地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名）	備考② （事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情）	予算区分			
																	総事業費	B					補助対象外経費							
																		補助対象事業費	国庫補助額	交付対象経費	E 起債予定額	F その他								
27		単		後期高齢者の安心安全確保事業		①②新型コロナウイルス感染症の影響により、県外の家族との面会が不可能となった高齢者と家族との毎日の安否確認により、不急の移動を抑制し新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ ③委託料（対象者への周知、見守り機能付き電気ポット・LED電球・人感センサー対応装置の基本料金及び月額料金）：6,489千円 アンケート返送用封筒印刷代：17千円 アンケート郵送料：120円×2回×390人＝94千円 ④70歳以上の独居者2,411人のうち、300人の事業参加者	—	—	—	—	—	—	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑭ハートフル	R2.9	R3.3	6,600			6,600	—	—					R2補正（地）			
28		単		自らの健康に対する早期教育支援		①②新型コロナウイルス感染症により今年度は受診を控えることが予測されるため、20歳の記念にスマホを利用する簡易健康診断キットを配布し、自らの健康に関心を持ち、早期からの健康意識の改革を行う。また、特定保健指導を実施する前段階の39歳の市民も、次年度以降の検診に対する意識を高めるため対象者とする。 ③7,700円×596人＝4,589,200円 ④R2年度に20歳、25歳、30歳、35歳、39歳の5歳ごとの節目を迎える市民	—	—	—	—	—	—	—	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑰いずれも該当しない	R2.10	R3.2	4,590			4,590	—	—					R2補正（地）		
29		単		健幸Festa in伊達		①②withコロナ時代を向かえ、新たな健康づくり行動による自主的な健康管理を行う必要がある。そのため、本市の政策である健幸都市の具現化を図るため、Afterコロナ状況下における健康づくりの手法を広く周知するため、トークショーやマルシェ等のイベントを開催するもの。 ③・カラーコーン 690円×344＝261,096円（税込） ・コーンバー 620円×312＝212,784円（税込） ・コーンベツト 520円×344＝196,768円（税込） ・ペーパータオル（200枚/パック） 5,318円×5＝29,249円（税込） ・注意喚起用看板（会場内外） 4,000円×30＝132,000円（税込） ・クリアカーテン（W1750×H1330mm）防炎 5,000円×24＝132,000円（税込） ④伊達市民	—	—	—	—	—	—	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	⑰いずれも該当しない	R2.9	R2.10	964			964	—	—							R2補正（地）	
30		補		母子保健衛生費補助金	厚労	（㊦乳幼児健康診査個別実施支援事業） ①新型コロナウイルス感染症による感染のリスクを軽減させる取り組みとして、集団健診による方法から、医療機関で実施する個別健診に切り替えて事業を実施する。 ②4か月児健康診査を医療機関における個別健診で実施 ③・契約単価：1人につき5,000円（単価契約） ・予定人数：340人（見込み） ④本市の生後4か月児、及び4か月時に受診できなかった生後5か月児	—	—	—	—	—	—	—	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	⑰いずれも該当しない	R2.5	R3.3	1,700	1,700	850	850	—	—	—					R2補正（国）	
31	○	単	12	飛沫防止用パーティション設置事業		①②市役所及び支所における打合せスペースに、飛沫防止用のパーティションを設置し、新しい生活様式に対応することで、新型コロナウイルスへの感染リスク軽減を図る。 ③パーティション240枚 499,520円 ④市役所等の来庁者及び市施設勤務者	—	—	—	—	—	—	—	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.7	R3.3	499			499	—	—					R2補正（地）		
32		単	12	乳幼児健診等に係る感染拡大防止事業		①②乳幼児健診及び9月からの集団検診等を実施するにあたり、受付に体表面温度計測サーマルカメラを設置し、発熱の症状がある受診者を速やかに把握することで、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図る。また、サーマルカメラを設置することにより、安心して受診できる環境を整備するもの。会場は、乳幼児健診等が保原保健センター、集団検診は各地区での開催となるため、サーマルカメラ2台（庁内共用）を購入する。 ③・発熱測定AIサーマルカメラ@850,000*2＝1,700,000 ・発熱スクリーニング用校正器@280,000*2＝560,000 ・POEインジェクタ@9,600*2＝19,200 ・三脚@26,000*2＝52,000 ・三脚アダプター@2,600*2＝5,200 ・ノートPC@60,000*2＝120,000 ・LANケーブル等部材@5,200*2＝10,400 ・モニター（31.5インチ）@35,000*2＝70,000 小計2,536,800 + 税253,680 ＝ 2,790,480円 ④乳幼児健康診査対象児（1歳6か月児、3歳6か月児）及びその保護者、健康相談会（7か月児、1歳児）参加者、住民検診における集団検診受診者	—	—	—	—	—	—	—	I-1. マスク・消毒液等の確保	⑰いずれも該当しない	R2.9	R2.12	2,791			2,791	—	—							R2補正（地）
33		単		新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る衛生器材購入		①②市の各施設の利用及び事業の実施にあたり、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、必要となる基本的な衛生器材を購入する。市全体分を取りまとめることにより、単価を抑えるとともに、購入に係る事務を効率的に行う。 ③・サージカルマスク @4,730円×492＝2,327,160円 ・フェイスシールド @3,850円×553＝2,129,050円 ・使い捨て手袋 @1,090円×714＝778,260円 ・非接触型体温計 @22,000円×115＝2,530,000円 ・手指消毒薬 @1,650円×2,253＝3,717,450円 ④市の施設利用者及び市実施事業参加者	—	—	—	—	—	—	—	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.9	R3.3	11,482			11,482	—	—							R2補正（地）
34		単	82	伊達市農産物等インターネット販売促進事業補助金		①農家が直売等の対面販売に加え、通販サイトを活用した販売方式を導入する場合、その経費の一部を支援する。 ②市内事業者が自ら生産した農作物のインターネット販売のためのシステムの導入費及び既存するECサイトのリニューアルに係る経費を補助（事業費の4分の3）（上限150千円） ③150千円×50件＝7,500千円 ④通販サイトを利用し、市内で生産された農産物等を販売する農業者（法人を含む）、市内の農産物直売所を運営する法人等	—	—	—	—	—	—	—	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑮強い農林水産	R2.9	R3.3	7,500			7,500	—	—						R2補正（地）	
35		単	70	伊達市農産物魅力発信事業		①「新しい生活様式」に基づく市農産物の魅力発信を行い、消費喚起・消費拡大に向けた伊達市産農作物等のPR事業を実施する。 ②③（1）市場・量販店に向けた消費拡大 2,000千円 ・PV（プロモーションビデオ）の制作及びそれを活用したPR ・オンライン中継の実施 （2）一般消費者に向けた消費拡大 2,100千円 ・YouTuberの視点から、農産物の魅力発信 ④・東京等の一大消費地をエリアとする取扱市場関係者及び量販店 ・全国の一般消費者層	—	—	—	—	—	—	—	I-6. 情報発信の充実	⑮強い農林水産	R2.10	R3.3	4,100			4,100	—	—						R2補正（地）	

No.	確認済 み事業	補助・単 独	事例集 事例番 号	交付対象事 業の名称	所 管	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	①休業要 請協力金	②事業者 への給付 金	③事業者 への家賃 支援	特定事業 者等支援	個人を対 象とした 給付金等	基金	経済対策との関 係	交付対象事業 の区分 （地域未来構 想20との該当 関係）	事業 始期	事業 終期	A						参考資料	備考① （地方単独事業に 関連している国庫補 助事業がある場合、そ の国庫補助事業名と 所管省庁名）	備考② （事業の終期が令和 3年3月を超えるこ とが見込まれる場 合、その事情）	予算区分	
																	総事業費	B									補助対 象外経 費
																		補助対象 事業費	C 国庫補 助額	D 交付対象 経費	E 起債予 定額	F その他					
36		単		コロナ禍での 桃等の新たな 消費創造		①②新型コロナウイルス感染症に伴い、主要農産物である桃等の果実類は嗜好品の要素が高いことから消費への影響が懸念される中で青果物としての消費期限も非常に短い。そのため、出荷停滞時の新たな消費販売、また生産物の約3割あるスソ物の付加価値を上げるため6次化商品として加工販売につなげることで農家の農業継続意欲の維持、農業収入の維持向上を図るため、商品開発に取組む事業者への加工設備導入に対する支援を行う。 ③総額 30,000千円（定額） ※事業費の3/4 補助、上限6,000 千円×5 事業者 ④青果物の加工販売に取組む者（市内の農産物を取扱う事業者・市内農家）	—	—	—	—	—	Ⅱ-3. 事業継続に 困っている中小・ 小規模事業者等 への支援	⑮強い農林水 産	R2.9	R3.3	30,000			30,000	—	—			R2補正 （地）			
37		単		プレミアム付 商品券発行 事業		①②新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく落ち込んだ市内消費の回復策としてプレミアム付商品券を発行することにより、市民に対し市内での消費喚起を促し、更に市内経済の回復を図るもの。 ③1セット7,000円×60,000セットを発行する。 （1）発行数 59,646人（4月末人口）×1セット≒60,000セット（1セット500円券14枚⇒840,000枚発行） （2）発行金額 60,000セット×5千円＝300,000千円 （3）プレミアム率 40%×300,000千円＝120,000千円（①） （4）発行総額 300,000千円+120,000千円＝420,000千円 （5）商工会事務経費（人件費、店舗募集、広告宣伝、消耗品費他） 10,000千円（②） ①+②＝130,000千円 ④商品券の取扱登録を行った市内の事業者（350 店舗程度）	—	—	—	—	—	Ⅲ-2. 地域経済の 活性化	⑰いずれも該 当しない	R2.6	R3.1	130,000			130,000	—	—			R2補正 （地）			
38		単	12	「道の駅伊達の 郷りようぜん」新しい生 活様式対応 改修事業		①②道の駅は、伊達市観光周遊の拠点であり、市内外から年間126万人の観光客等が訪れる施設であるため、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、新しい生活様式に対応したモデル施設に改修する。 ③施設改修経費 合計9,000千円 ・体表面温度計測サーマルカメラの設置（利用者出入口2カ所） 3,512,300円 ・飛沫感染防止設備設置 3,444,100円 ・トイレペーパーホルダー取付 305,250円 ・レストランメニュー表示用デジタルサイネージ 198,000円 ・レストラン呼び出しベル設置 69,850円 ・袋詰め台設置 623,480円 ・テーブル付き2人掛け椅子の設置 324,060円 ・道の駅EC（通販）サイトの構築（非対面型販売） 352,000円 ④施設の利用者	—	—	—	—	—	Ⅰ-1. マスク・消毒 液等の確保	①③密対策	R2.9	R3.2	9,000			9,000	—	—			R2補正 （地）			
39		単		新たな生活様 式への設備 投資補助		①②新型コロナウイルスの感染拡大により著しく売上が減少している市内中小事業者が新しい生活様式導入に向けた設備投資に要した経費の一部を補助する。 ③補助率3/4 （1）感染防止対策のための設備導入15万円×10件＝200万円（セルフレジ導入、キャッシュレス決済導入等） （2）受注開拓及びテレワーク環境整備15万円×10件＝200万円（オンライン会議システム導入、テレワーク導入初期費用等） （3）非対面型ビジネスモデルへの転換15万円×40件＝600万円（通販サイトの作成、EC販売への出店費用等） ④市内の中小企業者等	—	—	—	—	—	—	Ⅱ-3. 事業継続に 困っている中小・ 小規模事業者等 への支援	⑰いずれも該 当しない	R2.4	R3.3	10,000			10,000	—	—			R2補正 （地）		
40		単		公園施設利 用における感 染防止対策 （手洗い自動 水栓化）		①②公園トイレの手洗い蛇口を非接触式の自動水栓化することで、公共空間における感染拡大の防止を図る。 ③・保原総合公園 自動水栓化：20箇所 自動水栓化：20箇所×98千円＝1,960千円 ④公園利用者	—	—	—	—	—	—	Ⅰ-1. マスク・消毒 液等の確保	①③密対策	R2.10	R2.12	1,960			1,960	—	—			R2補正 （地）		
41		単		投票開票所感 染予防事業		①②投票開票所において、感染拡大を防止するため、衛生資材及びクリップ鉛筆等を購入する。 ③・飛沫防止衝立@8,000×103組＝824,000 円 ・クリップ鉛筆@20×4万本＝800,000 円 ④選挙人及び立会人等、選挙事務従事者	—	—	—	—	—	—	Ⅰ-1. マスク・消毒 液等の確保	①③密対策	R2.9	R2.11	1,624			1,624	—	—			R2補正 （地）		
42	○	単	12	簡易宿泊所 感染症対策 事業		①②感染予防対策のため、必要な資器材を購入。来館者の健康管理のため、サーマルカメラ、非接触型体温計、アルコール消毒等を設置する。 ③（・非接触型体温計 7,150円） ・ハンドソープ@880*18＝15,840 + @7,700*3＝23,100＝38,940円 ・ビニールカーテン@10*630cm＝6,300円 ・フロアスタンド@9,900*2＝19,800円 ・アクリル板@8,800*18＝158,400円 ・パーテーション @190,000円×8＝1,520,000円 ・洗剤（240ml*24）@4,000*2＝8,000円 ・塩素系漂白剤（1.5L）@770*10＝7,700円 ・紙コップ（30 個）@105*600＝63,000円 ・カウンタークロス （60枚）@2,700円×5＝13,500円 ④伊達市民	—	—	—	—	—	—	Ⅰ-1. マスク・消毒 液等の確保	①③密対策	R2.4	R3.3	1,866			1,866	—	—			R2補正 （地）		
43	○	単	12	歴史資料館 感染症対策 事業		①②来館者の健康管理のため、受付にAI体温検知カメラ、非接触型体温計、アルコール消毒液を、トイレにハンドソープを設置。また、定期的な施設内のアルコール消毒を行う。 ③（・非接触型体温計（1本） 7,150円） ・ハンドソープ 12,100円 ④伊達市一般会計	—	—	—	—	—	—	Ⅰ-1. マスク・消毒 液等の確保	⑰いずれも該 当しない	R2.4	R3.3	20			20	—	—			R2補正 （地）		

No.	確認済事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	A							参考資料	備考① （地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名）	備考② （事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情）	予算区分	
																	総事業費	B					補助対象外経費					
																		補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他						
44	○	単	12	美術館感染症対策事業		①②来館者の健康管理のため、受付にAI体温検知カメラ、非接触型体温計、アルコール消毒液を、トイレにハンドソープを設置。飛沫感染を防止し、入退場者の接触を避けるため、受付にビニールカーテン、利用者の誘導にパーテーションを設置。 ③・AI体温検知カメラ・スタンダー式 550,000円 （・非接触型体温計（1本） 7,150円） ・ハンドソープ12,100円 ・ビニールカーテン @10*700cm（受付3ヶ所）=7,000円 ・フロアスタンド @9,900*6=59,400円 ・パーテーション（720cm） 433,000円 ④伊達市民	－	－	－	－	－	－	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.4	R3.3	1,069			1,069	－	－				R2補正（地）		
45	○	単		ふるさと会館感染症対策事業		①②感染予防対策のため、和式トイレ（8基）を洋式化する。来館者の健康管理のため、サーマルカメラ、非接触型体温計、アルコール消毒等を設置する。 ③・サーマルカメラ、三脚、パソコン等一式 1,100,000円 （・非接触型体温計 7,150円） ・ハンドソープ等 24,200円 ・ビニールカーテン 2,000円 ・座席カバー @4,400円×50席＝220,000円 ④伊達市民	－	－	－	－	－	－	－	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.4	R3.3	1,354			1,354	－	－				R2補正（地）	
46	○	単	28	図書館パワーアップ事業		①②在宅で有意義に過ごしてもらうために、図書館において蔵書冊数を増やし、老若男女幅広い層の市民のニーズに即した図書を提供できるよう、電子図書館システム導入等を実施する。 ③・電子図書購入1,000冊 3,845千円 ・導入費・クラウド利用料 5,407千円 （イニシャル4,840千円、ランニング80,861円×7月＝567千円） ・除菌用消耗品等 61千円 ・図書 4,000冊 4,573千円 ・レシートプリンター 7台 470千円 ・蔵書点検用バーコードリーダー、導入・設定費用 7台 2,059千円、設定費 440千円 ④伊達市民	－	－	－	－	－	－	－	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	④行政IT化	R2.9	R3.3	16,854				16,854	－	－				R2補正（地）
47		単	103	小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業		①②国の公立学校情報機器整備費補助金（学校からの遠隔学習機能の強化事業）を活用したGIGAスクール構想における家庭学習のための通信機器整備支援事業及び学校からの遠隔学習機能の強化事業を行う。 ③小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業 国庫補助対象額：180,284,000円【対象外】 市負担（補助裏）分（1/2）：90,142,000円（税込）【対象外】 市上乗せに関する経費：152,779,230円【交付対象経費】 Meraki MR36 Wi-Fi6 対応アクセスポイント：82千円×262台＝21,484,000円（税別）、 Meraki AP管理用ライセンス（GIGA SCHOOL）：1,100円×470台＝517,000円（税別）、 Meraki スイッチ管理用ライセンス（GIGA SCHOOL）：1,100円×88台＝96,800円（税別）、 FortiGate 100F GIGAスクール対応版：579,800円×7台＝4,058,600円（税別）、FortiGate 60F GIGAスクール対応版：144,200円×13台＝1,874,600円（税別）、充電保管庫専用オプションタイマー（Aver純正品）：28,050円×184台＝5,161,200円（税別）、ネットワーク設計・構築・疎通試験：14,289,000円（税別）、ネットワーク/電源工事：91,409,010円（税別） ・小学校対象数13（伊達、伊達東、梁川、堰本、栗野、大田、保原、上保原、柱沢、掛田、小国、大石、石田、月館学園小） ・中学校対象数7（伊達、梁川、松陽、桃陵、霊山、月館学園中） ④伊達市立各小中学校の児童・生徒	－	－	－	－	－	－	－	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーマーの加速	⑨教育	R2.9	R3.3	152,780				152,780	－	－				R2補正（地）
48		補	103	公立学校情報機器整備費補助金	文科	①国の公立学校情報機器整備費補助金（学校からの遠隔学習機能の強化事業）を活用したGIGAスクール構想における家庭学習のための通信機器整備支援事業及び学校からの遠隔学習機能の強化事業を行う。 ②③・学校からの遠隔学習機能の強化 ウェブカメラ・スピーカーフォン 税込39,050×20校＝781,000円 ④伊達市立各小中学校の児童・生徒	－	－	－					Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーマーの加速	⑨教育	R2.9	R3.3	700	700	350	350	－	－	－				R2補正（国）
49		補		学校臨時休業対策費補助金	文科	①②3月の臨時休業中に発注する予定であった食材にかかる加工経費を、納品業者に補助する。 ③・3月の臨時休業にかかる金額（給食実施予定日 13日間） 主食分 1,492,239円（県学校給食会へ） 学乳分 1,244,785円（東北協同乳業へ） ④・公益財団法人 福島県学校給食会、東北協同乳業株式会社	－	－	－					Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	②いずれも該当しない	R2.5	R3.3	2,738	2,738	2,052	686	－	－	－				R2補正（国）
50	○	単		子育て支援センターオンライン相談事業		①②子育て支援センター6施設において、今後また休館となった場合にも利用者からの相談を継続して受けられるように、テレビ電話によるオンライン相談体制を整えるもの。 ③・タブレットリース料 月額6.5千円×6台×8カ月＝312千円 ・タブレット消耗品 10千円×6台＝60千円 ④子育て支援センターの利用者（未就園児の保護者）	－	－	－	－	－	－	－	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーマーの加速	④行政IT化	R2.8	R3.3	372			372	－	－				R2補正（地）	
51		単	106	子どもの未来応援ネットワーク事業		①②三密を避けつつ生活に困窮する子ども（就学援助に該当する子ども）を対象にオンラインで学習支援を実施する。 ③スタディサプリ小学講座・中学講座法人向け1ヶ月パック 850円*150人*6カ月＝765,000円（税別） ④就学援助に該当する概ね150名の生徒	－	－	－	－	－	－	－	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	②いずれも該当しない	R2.10	R3.3	842			527	－	315				R2補正（地）	
52		単	106	出生者への定額給付事業		①②令和2年4月28日以降の出生児について、コロナ禍で多くの不安を抱えながら出産・妊娠している方々への支援として、国による特別定額給付金と同額の給付金を支給するもの。 ③・給付費 100千円×300人＝30,000千円 ・返信用封筒 印刷費60千円＋送料40千円＝100千円 ④令和3年3月31日までの出生者	－	－	－	－	－	－	－	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	②いずれも該当しない	R2.8	R3.4以降	30,100			30,100	－	－				R2補正（地）	

No.	確認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	A							参考資料	備考① （地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名）	備考② （事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情）	予算区分			
																	総事業費	B					補助対象外経費							
																		補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他								
63		単		新型コロナウイルス感染症対策事業		①②新型コロナウイルス感染症対策に係る感染症拡大防止対策、感染症発生時の対応、市の業務継続や市民生活の維持・支援のための業務等に要する職員超過勤務手当及び管理職特別勤務手当。 ③総計12,816千円（超過勤務手当：10,716千円＋管理職特別勤務手当：2,100千円） ④市職員	－	－	－	－	－	－	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	㉑いずれも該当しない	R2.4	R3.3	12,816				12,816	－	－				R2補正（地）			
64		単		シティプロモーション活動事業②		①②市長や市職員がメディアやオンラインによる情報の発信する際のタペストリー（バックパネル）を整備し、情報発信・プロモーション活動の強化を図る。また、その際の飛沫感染予防対策の整備を行う。 ③イーゼーションシステムパネル1式：60千円、タペストリー3枚：182千円、簡易バックパネル1式：50千円、アクリルパーテーション大2枚：64千円、アクリルパーテーション小2枚：15千円、高倍率ズームレンズ：126千円、撮影用三脚：20千円、ステレオマイク：16千円、ワイヤレスマイクホン：21千円、カメラ用バッテリー：7千円、XQDカード64GB：17千円、撮影用ライト：11千円、魅力発信ポスター制作：1,650千円、動画編集用パソコン1台：450千円、広角ズームレンズ：168千円、インクジェットプリンタ1台：29千円 ④観光や移住など、地方の魅力や情報を探している人	－	－	－	－	－	－	I-6. 情報発信の充実	㉑リビングシフト	R3.1	R3.4以降	2,886				2,886	－	－					R2補正（地）		
65		単		りょうぜんこどもの村あんしんワークショップ事業		①霊山こどもの村で開催するワークショップにおいて感染防止対策に必要な資機材を配置する。また、離れた場所で開催するワークショップ（学校等）にリモートで指導するために必要な機器を整備する。 ②霊山こどもの村・遊びと学びのミュージアム等で年間を通じ開催するワークショップ（リモートも含む）で使用する感染対策機器 ③リモート指導システム：800千円 臨時会場用仮設テント：500千円 ④伊達市民	－	－	－	－	－	－	I-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R2.12	R3.3	1,300				1,300	－	－					R2補正（地）		
66		単		りょうぜん紅彩館コロナウィルス感染対策事業		①「霊山県立自然公園」に訪れ登山を楽しむ観光客向けに市が設置した宿泊施設「紅彩館」の感染防止対策に必要な資機材等を購入する。 ②りょうぜん紅彩館（玄関・レストラン・宴会場）で使用する感染対策のための機器備品等。 ③レストラン密集防止用呼び出しベル：70千円、会食用飛沫防止アクリル板（レストラン）：300千円、会食用飛沫防止パーテーション（大広間）：450千円、接客用呼び出しボタン：220千円 ④伊達市民・来訪者	－	－	－	－	－	－	－	I-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R2.12	R3.3	1,040				1,040	－	－						R2補正（地）
67		単		月舘地区交流館空調改修工事		①②災害時に避難所となる布川地区交流館、御代田地区交流館、下手渡地区交流館（3箇所）のエアコン改修工事。新しい生活スタイルに対応するために換気機能付きのエアコンへ改修を行う。 ③布川地区交流館：10,730,720円、御代田地区交流館：11,543,840円、下手渡地区交流館：5,765,760円 ④伊達市民	－	－	－	－	－	－	－	I-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R3.2	R3.4以降	28,041				28,041	－	－						R2補正（地）
68		単		防災情報伝達システム導入事業		①②感染症対策のため、より多くの避難所を開設する必要があることから、スマートフォンのアプリを導入することにより、個人のスマートフォンに、直接、避難情報等を送信することにより、多くの市民に、迅速かつ的確にお知らせする。 ③防災情報伝達システム導入設計業務委託料：1,144千円、防災情報伝達システム導入業務委託料：16,280千円、防災情報伝達システム導入監理業務委託料：1,529千円 ④伊達市民	－	－	－	－	－	－	－	I-6. 情報発信の充実	⑤防災IT化	R3.1	R3.4以降	18,953				18,953	－	－						R2補正（地）
69		単		新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る衛生器材購入		①②市の各施設の利用及び事業の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、必要となる基本的な衛生器材を購入する。 ③手指消毒液 @1,555.2円×5,000L：7,776千円、使い捨て手袋@1,430円×700箱：1,001千円、泡ハンドソープ@913円×4,930本：4,502千円 ④市の施設利用者及び市実施事業参加者	－	－	－	－	－	－	－	I-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R3.1	R3.4以降	13,279				13,279	－	－						R2補正（地）
70		単		伊達市若者帰省者新型コロナウイルス検査費用助成事業		①②県外から伊達市内に帰省する若者に対して、PCR等検査にかかる費用を補助する。 ③@20,000円×600人＝12,000千円 ④伊達市に帰省する若者	－	－	－	－	－	－	－	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	㉑いずれも該当しない	R3.1	R3.3	12,000				12,000	－	－						R2補正（地）
71		単		飲食業緊急支援給付金事業		①②飲食自粛の広がりにより、厳しい経営状況にあることから、市内の飲食店に対し、事業継続を支援する緊急の追加支援を実施する。 ③基本給付金 100千円×自己所有40店舗＝4,000千円 100千円×賃貸90店舗＝9,000千円 家賃加算金 84千円×90店舗＝7,560千円 計20,560千円 ④市内の飲食店	－	－	－	－	－	－	－	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	㉑いずれも該当しない	R3.1	R3.3	20,560				20,560	－	－						R2補正（地）
72		単		人材育成支援事業		①②新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している市内の中小事業者が、従業員の経験や能力を向上のための資格取得やスキルアップために実施する教育研修等の費用を支援する。 ③支援内容例：新技術習得や接客に関する研修の実施等を支援 補助率2/3、補助上限100千円 100千円×10件＝1,000千円 ④市内の中小事業者	－	－	－	－	－	－	－	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	㉑いずれも該当しない	R2.4	R3.4以降	1,000				1,000	－	－						R2補正（地）
73		単		新分野参入設備投資応援事業		①②新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少している市内の中小事業者・個人事業主に対し、新分野への参入のため機械・設備の導入やシステムの導入等に必要となる費用の一部を支援する。 ③補助率2/3、補助上限1,000千円 1,000千円×30件＝30,000千円 ④市内の中小企業者及び個人事業主	－	－	－	－	－	－	－	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	㉑いずれも該当しない	R2.5	R3.4以降	30,000				30,000	－	－						R2補正（地）

No.	確認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	A							参考資料	備考① （地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名）	備考② （事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情）	予算区分
																	総事業費	B					補助対象外経費				
																		補助対象事業費	国庫補助額	C 交付対象経費	D 起債予定額	E その他					
74		単		利子補給基金事業		①②現在実施しているコロナ対策融資の利子補給について、令和3年度以降の利子補給分について、基金を作り積み立てる。 ③R3:14,559,161円、R4: 9,250,302円、R5:2,487,189円 合計 26,296,652円 ④市内の中小企業及び小規模事業者	－	－	－	－		○	Ⅱ-2. 資金繰り対策	㊦いずれも該当しない	R3.2	R3.4以降	26,297			26,297	－	－				R2補正（地）	
75		単		小中学校特別教室等エアコン設置事業		①②市内小中学校特別教室等へのエアコン設置。感染予防対策としてマスク着用が奨励されているが、夏になると最高気温が35℃以上の猛烈な暑さに襲われる日が発生するようになり、マスク着用での校内生活において熱中症対策のためにエアコン設置の必要性が高まっている。今回の特別教室等へのエアコン設置により、普通教室だけでなく特別教室等でのマスク着用時の熱中症を防ぐ。 ③設計 小学校1,730千円 中学校5,270千円 工事 小学校25,200千円 中学校104,800千円 ④児童生徒	－	－	－	－		－	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R3.2	R3.4以降	137,000			137,000	－	－				R2補正（地）	
76		単		公共施設AI体温検知カメラ設置事業		①②主だった公共施設の入り口にAIサーマルカメラを設置して、常時利用者の体温を測定するとともに市民に対する意識の啓発を図る。 ③100千円×28施設＝2,800千円 ④中央交流館、体育館、美術館、福祉センター、斎場、紅彩館、こどもの村など30施設	－	－	－	－		－	Ⅰ-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	①③密対策	R3.1	R3.4以降	2,800			2,800	－	－				R2補正（地）	
77		単		事業継続奨励金事業②		①② 新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に大きな影響を受けている下記の業種において、前年同月の売上が20%以上減少した事業者に対し事業継続奨励金の助成をするもの ③1事業者10万円×1,000件＝100,000千円、事務費:2,994千円 ④市内の中小企業者等	－	○	－	－		－	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	㊦いずれも該当しない	R3.2	R3.4以降	102,994			102,994	－	－				R2補正（地）	
78		補		学校保健特別対策事業費補助金	文科	（感染症対策のためのマスク等購入支援事業） ①学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、学校設置者が実施する保険衛生用品等の整備に必要な経費を補助することにより、児童及び生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進する。 ②布製マスク購入費用 ③3,899人（児童生徒数）×340円＝1,325,660円（補助対象経費の上限額） 1,325,000円*1/2（補助率）＝662,000円（補助額） ④児童・生徒へ単価280円（税抜）布製マスク2枚配布	－	－	－	－		－	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R2.4	R2.5	1,325	1,325	662	663	－	－	－				R2補正（国）